

## [引用・参考文献]

- 荒井聡 (2010a) 「耕畜連携による飼料用米生産の拡大と水田フル活用ー岐阜県の事例を中心に」『農業と経済』76(1), 33~40 頁.
- 荒井聡 (2010b) 「兼業深化地帯における水田農業の担い手と集落営農」今井健編著『地域再生と農業ー飛騨・美濃の国からー』, 筑波書房.
- 荒井聡 (2017) 『米政策改革による水田農業の変貌と集落営農ー兼業農業地帯ー岐阜からのアプローチ』筑波書房.
- 安藤光義・伊庭治彦・内山智裕・宮田剛志 (2016) 「飼料用米生産における多様な経営体における経営成果と要因分析に関する研究」『畜産の情報』(317), 農畜産業振興機構調査情報部, 53~61 頁.
- 今井健 (2010) 「農業生産の変化と農業構造」今井健編著『地域再生と農業ー飛騨・美濃の国からー』, 筑波書房.
- 伊庭治彦 (2015) 「飼料用米の産地形成に関わる問題と課題」小田滋晃・坂本清彦・川崎訓昭編著『進化する「農企業」ー産地の未来を創るー』農業経営の未来戦略 III, 昭和堂, 169~189 頁.
- 鶴川洋樹・李侖美・園部文菜 (2014) 「飼料用米の作付変動要因と定着条件」『農村経済研究』32(1), 105~111 頁.
- 鶴川洋樹・李侖美・神田悠希 (2017) 「飼料用米生産における数量払い導入と面積拡大」『農業経営研究』55(2), 33~38 頁.
- 内山智裕・宮田剛志 (2015) 「政策変更に伴う飼料用米生産行動の変化: 秋田県 JA かづのを事例として」『フードシステム研究』22(3), 281~286 頁.
- 小川真如 (2017) 『水稻の飼料利用の展開構造』日本評論社.
- 小沢互 (2008) 「食料自給率向上を目指したフードシステムの主体関係と成立条件ー遊佐町・平田牧場・生活クラブ」『フードシステム研究』15(2), 20~29 頁.
- 小沢互 (2016) 「遊佐町における水田作経営での飼料用米生産と利用ー地域に立地する養豚経営と契約水田農家ー」『水田利用の実態: 我が国の水田農業を考える』JC 総研ブックレット 14, 11~25 頁.
- 小野洋・大平陽一・勝部忠志 (2016) 「飼料用米生産の現状と課題: 岩手県一関市大東町を対象としたアンケート調査から」『フードシステム研究』23(3), 241~246 頁.
- 神山安雄・坂内久 (2011) 「飼料用米の生産・利用の現状と可能性」『米粉・飼料米・水田放牧を巡る最近の動向』農林中金総合研究所, 34~60 頁.
- 品川優 (2010) 「九州穀倉地帯における農業構造の変動と構造政策の現段階」『土地と農業』第 40 号, 全国農地保有合理化協会, 183~194 頁.
- 田代洋一 (2006) 「出雲の集落営農と農業法人」『集落営農と農業生産法人ー農の協同を紡ぐ』筑波書房, 139~160 頁.
- 谷口信和 (2010) 「水田農業が拓く日本農業の新たな地平」谷口信和・梅本雅・千田雅之・李侖美『水田活用新時代ー減反・転作対応から地域産業興しの拠点へ』シリーズ地域の再生 16, 農山漁村文化協会, 13~35 頁.
- 恒川磯雄 (2016) 「飼料用の流通・利用の実態とコスト低減の可能性」『農業経営研究』53(4), 6~16 頁.
- 中川隆 (2012) 「飼料用米を活用した畜産経営の展開と地域活性化ー大分県の鈴木養鶏場と高田牧場を事例としてー」『畜産の情報』(277), 農畜産業振興機構調査情報部, 60~71 頁.
- 中野真理 (2011) 「飼料用米の現状と課題」『調査と情報』(716), 国立国会図書館.
- 農林水産省 (2015) 『平成 26 年度食料・農業・農村の動向に関する年次報告書 (食料・農業・農村白書)』.
- 農林水産省農政審議会 (1980) 「80 年代の農業の基本方向」.
- 信岡誠治・小栗克之 (2011) 「モデル集団の飼料用米導入定着化の取り組みと課題」『農業・食料経済研究』57(1), 20~30 頁.
- 信岡誠治 (2016) 「飼料用米は日本農業の救世主たりうるか」谷口信和・安藤光義『基本計画は農政改革と TPP にどう立ち向かうのかー日本農業・農政の大転換ー』農林統計協会, 165~184 頁.
- 坂内久・一瀬裕一郎 (2010) 「飼料米」『米粉・飼料米・飼料稲を巡る動向と今後の課題』農林中金総合研究所, 32~51 頁.
- 宮路広武・小野寺正寿 (2009) 「飼料米生産の取組事例」『飼料米の生産技術・豚への給与技術』技術リポート(7), 農研機構畜産草地研究所, 23~28 頁.
- 宮田剛志 (2010) 「モデル対策下の飼料用米・飼料用稲の到達点と課題」『農業と経済』76(13), 29~39 頁.
- 宮田剛志・万木孝雄 (2013) 「飼料用米の作付面積の拡大とその収益性ー秋田県 JA かづのを事例としてー」『フードシステム研究』20(3), 327~332 頁.

- 宮野卓也・淡路和則・三浦聡（2010）「飼料用米の副産物販売及び粃流通の意義と課題－岐阜県の取り組みを事例として－」『2010年度日本農業経済学会論文集』，121～125頁．
- 万木孝雄・宮田剛志（2013）「農業者戸別所得補償制度下での単収低下に関する考察－秋田県JAかづのを事例として－」『2013年度日本農業経済学会論文集』，9～14頁．
- 吉仲怜（2016）「津軽平野部における飼料用米生産と利用－地域に立地する養豚経営と契約水田農家－」『水田利用の実態：我が国の水田農業を考える』JC総研ブックレット14，26～38頁．